

I 福山市

ミッション

福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。

ビジョン

「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

II 中学校区	前年度学校関係者評価の主な内容	児童生徒の現状	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	課題発見・解決力、表現する力、自他の尊重
	「主体的な学び」とはどんな学びなのか、「楽しく学ぶ」とはどういう子どもの姿なのかについて4校での合同研修の中で論議を深め、目指す学びの姿の共有化を図ってほしい。	話し合う活動を通じて考えを深めたり広げたりしている意識は高まっている。自分の考えを工夫して発表する点については、改善はされているが課題がある。	めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)	自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる子
			中学校区として統一した取組等	全教職員が2つの部会に所属し、授業研究と実践交流を行う。 ①授業改善・ESD部会 ②特別支援・長欠ゼロ部会

III 自校	ミッション	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	課題発見・解決力 課	表現する力 表	自他の尊重 尊
	深津小学校の優れた伝統の継承と新たな挑戦				
	学校教育目標				
	自ら学ぶ				
	現 状	めざす子ども像			
	＜児童生徒＞ ・地域のよさや課題を見つけた児童は47.4%である。旧1年は30%だが、旧6年は63.3%と学年が上がるにつれて地域のことを考えられる児童は増えている。毎年の学習が積み上げられている。発達段階に合った学習を進めていく。 ・プロジェクト活動が始まって3年目となる。行事の再開等により異学年での交流が進んでいる。さらに交流が深まるような取り組みを進めていく。 ＜授業＞ ・講師を招いての校内研修により、国語・算数・理科・社会の基本的な教材研究の進め方について共通理解ができた。学び合うことを意識した授業づくりにより友達とともに学ぶことが楽しい児童は96.5%いる。今年度は、学力調査で課題が明確となった算数科に重点を置き、学ぶ楽しさだけでなく、できる喜びを感じられるよう学力の向上に取り組む。	低学年 中学年 高学年	○自分で、やりたい課題を立てる子 ○自分で立てた課題に対して、自ら解決方法を考え、実践しようとする子 ○課題解決の過程の中で、新たな課題を発見し、解決方法を実践する子	○自分の考えを表現する子 ○友達の影響を受け止めながら、自分の考えを深め表現する子 ○多様な考えを認め合いながら、自分の考えを深め、相手に分かりやすく表現する子	○友達と仲よく活動し、自他のよさを見つける子 ○相手を受け入れ、目的達成のために友達と協働して活動する子 ○相手の立場や考えを理解し、友達や学級のために貢献する子
		研究	テーマ 内容等	単元構成の工夫による学び続ける児童の育成～算数科を中心に 教師が単元を創意工夫して構成することで、子どもが意欲的に授業参加する算数科授業の創造	
		めざす授業の姿		子どもが楽しい、先生が楽しい、学びが楽しい授業	

Ⅳ 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立 深津小学校

年 目	中期経営目 標	重 点	分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)			最終評価(2月末)					
							□指標に係る 取組状況	70%以上 達成 評価	改善方策	□指標に係る 取組状況 ◎短期・中期 経営 目標の達成状況	70%以上 達成 評価	総合 評価	改善方策		
4	主体的な学 びの推進	★	継続	学びを楽しむ 児童の育成	○友達と学び合 いながら学習 に取り組む授 業に取り組む。	○友達と学び合うこ とが楽しいと自己評価 する児童95%以上 ○教材研究をしっかりと 行い、単元構成を 工夫した教員 9 0%以上	・学び合うことが楽しいと肯定的評価をする児童92.5% ・友達と学び合うことで学習が深まる展開を意識することで、学び合いを楽しむ児童が増えてきた。	3	3	・単元でつけない力を明確にして、学ぶ必要性を感じさせるような単元づくりを進める。	・話し合いをすることで、自分が気づけない考えに気づくことができるという肯定的回答が多かった。 ・学び合うことが楽しいと肯定的評価をする児童94.2%	3	3	4	・基本的な聞き方・話し方の指導を継続する。
							・単元構成を工夫した教員96% ・教材研究日を中心にいろいろな職員で単元構成について話し合うことができた。	3	3	・チームの輪をこえて継続して単元づくりをする。 ・事前に授業について考えて教材研究に参加するように早目に内容を周知する。	・単元構成を工夫した教員96% ・チームでの教材研究を進めたり、研修の中間報告をしたりすることでいろいろな方法に触れることができた。	3	4	4	・それぞれの単元構成の工夫を可視化し、学校の財産として共有していく。
4	長期欠席者 ゼロへの取 組	★	継続	よりよい生活を考え、行動する児童の育成	○異学年交流の場を設け、自他共に認めあい、自己肯定感を高める。 ○運動する機会を児童主体でつくる。	○縦割り活動やプロジェクト等で様々な価値観を認め合えた自己評価する児童90%以上 ○友達と運動することが好きだと実感する児童85%以上	・友達の良いところを見つけた児童は70.7%、自分の良いところを見つけた児童は、47.9%だった。 ・友達と運動することが好きだと実感する児童92.1% ・習い事や、休憩時間の遊びなど、同じ動きをしている児童が多い。	3	3	・友達の良いところを見つけれられる児童は多いが、自分の良いところを見つけれられる児童は半数以下なので、良いところを見つける視点を指導者が持ち、児童と共有して、良いところを伝える機会を増やす。 ・様々な運動や遊びを紹介し、いろいろな動きを経験する機会をつくる。	・友達の良いところを見つけた児童は70.4%、 ・自分の良いところを見つけた児童は、45.7%だった。 ・友達と運動することが好きだと実感する児童は、92.6%であった。 ・運動が好きではない児童は高学年に多く、「疲れる」という理由が大半。	3	3	4	・異学年交流の場が、縦割り活動しかなかったため、縦割り活動以外の交流の場も増やし、自他共に認めあう場を増やす。 ・継続して運動することが「楽しい」と思える運動を企画する。
4	ESD 教育 への取組		継続	○地域に貢献する児童の育成	○SDGsと教科を関連させて学習を進める。 ○地域の活動に参加したり、人と関わったりする機会を増やす。	○地域の良さや課題を見つけ、自分にできることを考えた児童85%以上	・地域が好きだと実感する児童は、93.6% ・地域の行事が多い、公園など遊ぶ場所がある、地域の人のと関わりがあることに良さを感じている児童が多い。	3	3	・「総合的な学習の時間」で地域の良さを調べるだけでなく、課題も調べて、地域の課題に目を向ける機会をつくる。 ・地域の行事に積極的に参加をしていくよう児童に啓発をする。	・地域が好きだと実感する児童は、92.6% ・地域の行事や公園など遊ぶ場所がある、地域の人と挨拶を交わすことの良さを感じている児童が多い。	3	3	3	・「総合的な学習の時間」で地域の良さを調べるだけでなく、課題も調べて、地域の課題に目を向ける機会をつくる。 ・祭り以外の地域の行事を把握している児童が少ないため、地域の行事や活動を知らせる。
4	教職員の元 気・笑顔		継続	○元気に児童と向き合う職場環境づくり	○同僚のすばらしさ(良いところ)を評価しあえる職場環境の構築	○この職場、この職員集団で良かったと実感できる教員が90%以上	・この職場、職員集団で良かったと実感できる教員 90% ・目標となる先生がいる ・チーム研や学年でのサポートの充実 ・学習・生活面での相談がしやすい。	3	3	・同僚の素晴らしい部分を継続して評価しあう場を持つ。 ・レクリエーション・職場での悩み・授業の相談などを話す時間を設定し、職員間の交流を深める。	・この職場、職員集団で良かったと実感できる教員 100% ○学級・学校運営をしていく中で、誰でも相談・声掛けをして、風通しのよい教員集団	4	4	4	・ICTを使った事務処理のサポート体制の構築 ・経験年数、年齢に関係なく意見を言い、切磋琢磨できる研修・交流の場を各主事と連携して設定する。

[プロセス評価の評価基準]

評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。

[達成評価の評価基準]

評点	評価基準
5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。
4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。
3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。
2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。
1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。

[総合評価の評価基準]

評点	評価基準	
5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。